

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和7年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担当課 係		観光交流課	観光企画係
事務事業名	観光協会助成事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	大綱	I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち	款	07	商工費	
	施策大綱	I-5 観光・交流の推進	項	01	商工費	
	基本目標	1 産業振興と企業立地による雇用の創出	目	03	観光費	
	主要施策	I-5-1 滞在型観光の推進と受入体制の確保	事業	459	観光協会助成事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	浜田市の歴史・文化や産業・伝統など観光資源の開発、宣伝及び観光客の誘致促進に努めるとともに地域経済の振興及び文化の向上に寄与することを目的に運営に要する事務費及び事業費を補助する。	事業の内容	・観光客の誘致、受入、宣伝等事業の補助（浜っ子春・夏祭り、大平桜まつり、WEBや観光パンフレット等による情報発信、国府海水浴場監視等） ・観光協会の本部職員の人件費を含む運営経費を補助
市民ニーズの把握状況	観光案内所での問合せやイベントでもアンケート調査を実施して把握している。	市民参加・協働の有無 その内容	各種イベントの企画・運営に市民の方も参加して実施している。

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績		設定した目標			目標/実績	目標/実績	目標	目標
					R6	R7	R8	R9
		・観光入込客数の増加（以下「観光」） ・宿泊者数の増加（以下「宿泊」） ※期間は1月～12月		目標	【観光】 1,702,000人 【宿泊】 223,000人	【観光】 1,750,000人 【宿泊】 230,000人	【観光】 1,803,000人 【宿泊】 237,000人	【観光】 1,803,000人 【宿泊】 237,000人
		設定した理由・背景			実績	【観光】 1,503,121人 【宿泊】 291,333人	【観光】 1,509,702人 【宿泊】 267,155人	
観光入込客数、宿泊者数を把握することで、観光客の滞在状況を把握し、事業実施方法を検討する。 ただし、上記数値は本事業のみではなく他事業の効果も含めている。								
				R6年度決算	R7年度最終予算	R8年度予算	市民1人当たりのコスト	
事業費	総事業費		36,040,000	37,685,659	40,743,000	R6	734	
	財源内訳	国県支出金				R7	784	
		地方債				各年度4月1日時点の人口		
		利用者負担・その他		337,150		R6	49,096	
		一般財源	36,040,000	37,348,509	40,743,000	R7	48,048	

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	補助対象事業者である観光協会において浜田市の魅力発信や誘客促進に向けた事業を次のとおり実施した。 観光客誘致促進事業では、浜っ子夏祭りが雨天のため一部催しが中止となったため来場者が少なかったが、2025大阪・関西万博での公演を契機に石見神楽魅力発信事業など石見神楽を核とした事業を実施し、神楽公演への誘客を図った。また、観光連携・宣伝事業では、SNSによる情報発信を行い、市内で開催されるイベントを積極的に周知し誘客に努めた。観光客受入整備事業では、猛暑により海水浴客は減少したが、国府海水浴場の監視事業を行い利用者の安全確保に寄与した。 助成事業の実績については、宿泊者数は目標を達成し「滞在型観光の推進」に一定の効果があったと考える。一方、観光入込客数は目標を下回っており、誘客に向けた取り組みについて検討する必要がある。
--------------------	---

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和8年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	より効率的かつ効果的な誘客促進に向け、観光協会の業務内容を見直し、業務の集約化を図り、市と観光協会の一体的な推進体制の構築に取り組む。令和8年度は観光協会の業務及び事業について調査し、一体的な推進体制の方向性について検討を進める。
---------------------------	---